

AS-FG2 SET
ピロポロ競技セット
 ¥55,000 (税抜価格 ¥50,000)
 ソフトスティック12、ボール2、
 ヘッドカバー12、
 ポップ・アップ・ゴールセット1

※表示価格は2023年1月21日現在のメーカー希望小売価格です。
 価格及び仕様変更になる場合がありますのでご了承下さい。

ピロポロ概要

用具

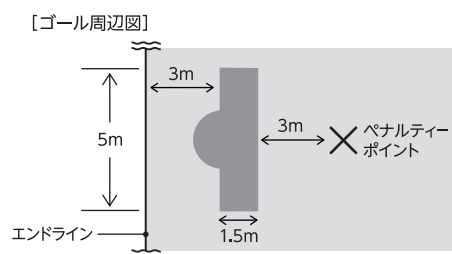
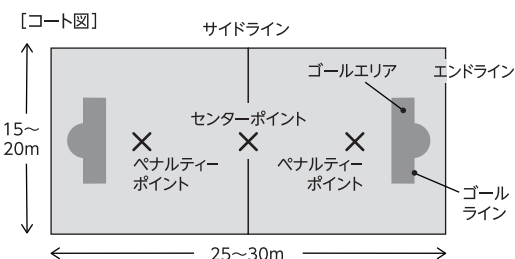
- スティック** 長さ79cm 360g。
 ヘッドは安全なウレタンスポンジ製。
 ※ヘッドを保護するためのヘッドカバーがあります。
- ボール** 直径17cm 50g。
 バウンドしにくいスポンジ製。
- ゴール** 間口183cm 高さ奥行きとも約1m。
 軽量で組立ていらずで収納も簡単な専用ゴール。

場所

コートサイズは最大30m×20m、最小25m×15m。
 この範囲内で行います。平坦な場所なら室内外を問わずプレー可能。
 屋内の場合、壁を境界線として使用でき、壁を使ったリバウンドパスも有効です。

【コート】

- 1 コートにサイドライン、エンドラインを引きます。
- 2 コート中央にセンターポイントの(×)印を入れます。
- 3 ゴール周辺図をコート内に左右対象に描きます。
- 4 ゴールラインから4.5mとゴールの真ん中を結んだところにペナルティーポイントの(×)印を入れます。



人数

1チーム6人(計12人)…ゴールキーパーは設けません。

使用上のお願い

- 用具の使用時は周りに人がいないか、障害物がないか確認してください。
- プレー目的以外で用具を使用しないでください。

ニュースポックス **Newsbox**
 生涯・健康スポーツ用品
 ニュースポーツの専門店 ONLINE SHOP



ウェブサイトはこちら

★ 用品・用具のお買い求めはお近くのスポーツ店、もしくは左記フレンドリー情報センターのオンラインショップにてどうぞ。

SUNLUCKY NEWSPORT FOR EVERYONE

ニュースポーツメーカー 株式会社 サンラッキー

【お客様窓口】 ☎0120-81-4670 (平日9:30~17:00 / 土・日・祝日 休み)

http://www.sunlucky.jp

E-mail: info@sunlucky.jp FAX: 06-6981-6740

ウェブサイトはこちら



ウェブサイトはこちら

ルールや講習のお問い合わせ

特定非営利活動法人 フレンドリー情報センター

【本社】〒537-0012 大阪市東成区大今里 3-12-23

http://www.newsports-21.com

e-mail: friendly@newsports-21.com

TEL: 06-6971-9190 FAX: 06-6981-7470

ウェブサイトはこちら

安全性を重視したホッケーゲーム



ピロポロ

ピロポロクラブ推奨品

PILLO POLO



ピロポロの「ピロ」は「枕」、ポロは「ポロ競技」を意味しています。

枕のような柔らかな素材でできたスティックを使い、スポンジ製のボールを打ち合うのがピロポロゲームです。

20年ほど前にアメリカで考案され、小中学校の体育の授業を中心に人気が出ました。

ゲームを行うコートのサイズは、バスケットボールとほぼ同じ。また、ルールはホッケーに似ています。

日本に紹介された当初のルールではゴールキーパーを設けていましたが、「運動量の均等」「ゴールエリア内の安全性の確保」「得点する喜びを多く感じる」などの理由から現在ではゴールキーパーを設けず、2つのチームが6対6で対戦するゲーム(1998年考案)が主流をなしています。

用具が安全・軽量であることから、ゲームはヒートアップし、各プレーヤーの運動量もかなり多くなります。したがって、ゲームを進める上で、指導者には参加者の体力や体格などを十分に考慮して、参加人数や競技時間、コートサイズを調整することが必要とされます。

ゲームの進め方

- 1 チーム代表がジャンケンをして勝ったチームが左右どちらかのコートを選びます。
- 2 審判が笛を鳴らし「位置について」とコールしたら、両チームの代表はセンターポイントへ、残りの選手は自陣コートで待機します。
- 3 ゲーム開始は、フェイスオフ(審判が手を上げ、腰の位置からセンターポイント内に落としたボールをチーム代表の選手2人で取り合う)を行い、パスを繋げて相手ゴールを狙います。フェイスオフの際、代表の選手はそれぞれ自陣コートに向かい合う位置に立ちます。
- 4 ボールがゴールに入ると、試合開始時同様にフェイスオフで再スタートします。
- 5 相手のゴールにボールを入れると1点となり、3点先取で1セットが終了します。ただし、1セットの試合時間は10分のため、10分経過した時点で得点の多いチームがそのセットの勝者となります。
- 6 1ゲーム終了ごとにコートチェンジを行います。
- 7 反則が発生した時は、相手チームがフリーショット(反則参照)を行います。フリーショットを行う選手以外は、フリーショットの地点より2m以上離れていなければなりません。

勝敗の決定

試合は3セットマッチで行い、2セット先取したチームの勝ちとなります。1セットの試合時間は10分で、時間内に3点先取した時点でセット終了となります。同点の場合は各チームから3人がコート中央のセンターポイントよりゴールに向かって1回ずつショットし、その得点により勝敗を決定します。それでも決まらない場合は、各チームより残りの選手が1人ずつ出てゴールに入るまでショットを行います。これを勝敗が決するまで行います。

※対象者や交代メンバーの数によって、セット数・試合時間を変更してもかまいません。

メンバーチェンジ(選手交代)

時間内なら自由に何回でもメンバーチェンジをすることができます。インプレー中もメンバーチェンジが可能です。

反則

次の反則が行われた場合、相手側が反則の行われた地点にボールを置いてショット(=フリーショット)します。ただし、直接ゴールをねらうショットはできません。

- スティックを腰より上に振り上げてショットした場合(オーバースイング)。
- 宙に浮いたボールを地面に落とさずにショットした場合(ヒッティング)。
- スティックのスポンジ部分以外で補球、打球した場合(イリーガルショット)。
- ゴールへ、直接シュートをした場合(フリーショット時)。

次の場合は、相手側がゴールエリアの任意の位置よりフリーショットします。

- 攻撃側の選手がゴールエリア内に進入してショットしたり、ゴールエリア内にあるボールを誤ってショットした場合。

次の場合は相手チームがペナルティーショット(ペナルティーポイント=×印にボールを置いてショット)をします。

- 防御側(自コート側)の選手がゴールエリアに進入してショットしたり、ゴールエリアのボールを誤ってショットした場合。
※審判が故意と判断すれば、退場になることもあります。

次の場合は退場となります。

- 故意に他のプレーヤーに身体やスティックをぶつけるなどの反則を犯した場合。

アウトボールの処置

ショットしたボールがサイドラインから外に出た場合。

※相手側が、出た地点のサイドラインにボールを置いてショットします。

防御側の選手のショットしたボールが、エンドラインから外に出た場合。

※ボールが出た地点に一番近いコーナーより相手側がフリーショットします。

攻撃側の選手のショットしたボールが、エンドラインから外に出た場合。

※相手側がゴールエリアの任意の位置よりフリーショットします。



審判のやり方

正審1人と線審2人を設けます。

- 1 ゲームがスムーズに楽しく進行するよう、安全面に配慮します。
- 2 ゴールが正確になされたかどうかの確認をします。
- 3 フリーショットの位置を的確にプレーヤーに告げます。
- 4 反則について、プレーヤーが納得した上で次のプレーに移るよう配慮します。

指導方法

- 1 指導者は、プレーヤーがスティックのグリップ部分を、両手またはどちらか一方の手でしっかり握るよう指導しなければなりません。
- 2 試合時間内は、どのプレーヤー(攻撃側、防御側)もゴールエリア内に進入することやゴールエリア内にあるボールをショットすることはできません(フリーショット時を除く)。このルールをプレーヤーに徹底させることが重要です。
- 3 スティックのスポンジ部分を腰より高く上げてショットすることはできません。これは危険防止のために必要なルールで、指導者はプレーヤーに周知徹底させなければなりません。

練習方法

スティックのグリップ部分を握り、低い位置でかまえ、スポンジのヘッド部分でボールをショットします。ただし、対象者によっては両手でショットの方が適切な場合もあります。

- 1 パスをする時は、スティックをやや傾けてショットすると正確なパスができます。
- 2 パスを受ける時は、スティックのスポンジ部分を少し引くようにして受けましょう。
- 3 ドリブルは、身体より前でボールを保持し、スティックのスポンジ部分を左右に入れ換えながら押すようにしましょう。
- 4 2人でパスしながらゴール方向へ向かい、1人がゴールの裏側へドリブルして行き、ゴール前の人にパスし、その後シュートします。
- 5 ボレーショット: パスされたボールを止めないで、直接ゴールに向かってシュートします。

国際ルールについて

ピロポロの試合には、現在日本で行われているルールの他に、アメリカなどで多く行われている国際ルールがあります。国際ルールでは、ゴールキーパーを設けています。